

自然体験活動や体力向上に向けた取組等の推進による児童生徒等の心身の健全育成	施策番号128
福島復興再生基本方針における該当箇所	府省庁名
頁 51	文部科学省
章 第3	
節 2	作成年月
項 (8)	平成24年9月
目 ⑧	

平成23・24年度の予算措置の状況

【平成23年度】

- ・子どもの発達段階に応じた体力向上プログラム実技指導者講習会実施事業 8百万円【一般会計】
- ・独立行政法人国立青少年教育振興機構運営費交付金で措置（運営費交付金9,479百万円の内数）

【平成23年度（第3次補正）】

- ・学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業（スポーツ・レクリエーション活動の支援）
63百万円【一般会計】

【平成24年度】

- ・子どもの発達段階に応じた体力向上プログラム実技指導者講習会実施事業 8百万円【一般会計】
- ・学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業（スポーツ・レクリエーション活動の支援）
125百万円【復興特会】
- ・独立行政法人国立青少年教育振興機構運営費交付金で措置（運営費交付金9,323百万円の内数）

施策の内容

（子どもの発達段階に応じた体力向上プログラム実技指導者講習会実施事業について）

運動を促進し、子どもの健康の増進を図るために、様々な屋内外での運動例や実践事例を掲載した「子どもの発達段階に応じた運動プログラム（アクティブチャイルドプログラム）」を作成し、学校や総合型スポーツクラブ等に配布するなどの取組を通じて、この運動プログラムの活用促進を行うとともに、地域のスポーツ指導者等を対象として、本プログラムを効果的に指導するための実技講習会を実施し、子どもたちが屋内外で効果的に運動を行うことができるようにする。

（学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業（スポーツ・レクリエーション活動の支援）について）

被災3県の各地域において住民のスポーツ活動の担い手として各種スポーツ事業を実施してきた総合型地域スポーツクラブ等にクラブマネージャー、市町村体育協会やレクリエーションスポーツの指導者、その他スポーツに関わりを持つ住民を「地域スポーツコーディネーター」として配置し、地域の住民に対するスポーツ活動を企画・立案し、外部講師や地域ボランティア等の参画を得て、スポーツ・レクリエーション教室などのプログラムを定期的に実施。

（「リフレッシュ・キャンプ」について）

東日本大震災の被災地の児童・生徒の心身の健全育成やリフレッシュを図るために、一定期間、外遊び、スポーツ及び自然体験活動等ができる機会を、独立行政法人国立青少年教育振興機構の青少年教育施設を活用して提供する。

施策の進捗状況及び今後の予定

（子どもの発達段階に応じた体力向上プログラム実技指導者講習会実施事業について）

- 全国9箇所の実技講習会を実施
- 平成22年度は福島県の二本松市において実技指導者講習会を実施
（今後の福島県内での実技講習会実施について調整中）

（学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業（スポーツ・レクリエーション活動の支援）について）

○平成23年度においては、被災3県の31箇所の総合型地域スポーツクラブ等に地域スポーツコーディネーターを配置し、運動不足の解消、地域コミュニティの再生ため、スポーツ・レクリエーション活動の場を提供。

○平成24年度も、被災3県の40箇所において本事業を実施する予定。

（「リフレッシュ・キャンプ」について）

○文部科学省と独立行政法人国立青少年教育振興機構では、福島県の児童・生徒を対象に平成23年7月～8月に「リフレッシュ・キャンプ」を実施した。

○これ以降、独立行政法人国立青少年教育振興機構の主催により、被災地域を対象として、平成23年9月～11月には「同《オータム》」、平成23年12月～平成24年2月には「同《ウインター》」、平成24年3月～5月には「同《スプリング》」、平成24年6月～8月には「同《サマー》」を開催し、同年9月以降も「同《オータム》」を開催している。